



2026年7月17日
第8号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申
第1号

「京浜東北・根岸線ワンマン運転について」に関する 説明申し入れ（その1・運車） 7月15日提出！

横浜地本では南武線と横浜線に続き、3路線目となる長編成ワンマン運転が提案されています。今回提案されている「京浜東北・根岸線ワンマン運転」の特徴として、田町駅付近での羽田空港アクセス線工事に伴いツーマン運転が混在することです。また、今までの長編成ワンマン運転と異なる点として、①並行線区が多いこと、②ワンマンスイッチの切り替えが発生することです。特に、①では異常時の際の隣接線防護のあり方が大きく問われます。命と安全が脅かされることのないよう、職場からの議論で安全第一を求めています！

全16項目を申し入れ！

東日本旅客鉄道株式会社
横浜事業本部長 大野 武一 殿

横 地 申 第 1 号
2026年 7月15日

東日本旅客鉄道労働組合
横 浜 地 方 本 部
執行委員長 梶田 優一

「京浜東北・根岸線ワンマン運転について」に関する説明申し入れ (その1・運車)

JR東労組横浜地本は2025年9月に「京浜東北・根岸線ワンマン運転について」の提案を受け、関係する組合員との議論を進めてきました。

グループ経営ビジョン「勇翔2034」に基づき、「安全」をトッププライオリティとして位置づけ、鉄道を中心としたモビリティと生活ソリューションの二軸における持続的な成長を実現していくとしています。今後、更なる生産年齢人口の減少やライフスタイル等の社会環境の急激な変化、技術革新の進展等に対応し、将来にわたりお客さまに安全かつ安定的な輸送サービスを提供していくため、南武線ワンマン運転および横浜線ワンマン運転と同様にホーム上の安全確認を車載ホームモニタ（無線式）で行うための設備を導入し、10両編成の長編成ワンマン運転で実施するとあります。しかしながら提案された内容からは「実施線区・区間」「実施箇所」「導入車両」は分かるものの、最も重要である「実施内容」「周知・教育」「実施スケジュール」が不明確であり、参考資料にも詳細は記載されていません。また、全区間ではなく一部区間でツーマン運転が混在するため、取り扱いの複雑さが想定され、不明瞭な部分も多いことに対して組合員は不安を抱えています。

施策を担う組合員が不安を抱えたままでは「勇翔2034」の実現や「グループの持続的成長」はあり得ません。従いまして、今施策を担う組合員の不安解消のために下記の通り申し入れますので、会社の真摯な議論と誠意ある回答を要請します。

記

- ワンマン運転を実施する目的と、ワンマン運転でも京浜東北・根岸線の安全で安定的な輸送サービスを提供できる根拠を明らかにすること。また、長編成ワンマン運転を実施している南武線および横浜線における成果と課題を明らかにすること。
- ワンマン運転開始後の横浜事業本部・磯子乗務における箇所体制、労働条件、行路数等、現時点で考えている内容を具体的に示すこと。
- ワンマン運転開始後の運転時分・停車時分・折り返し時間について、拡大の考えはあるのかについて明らかにすること。

- ATOの導入範囲と導入予定時期および訓練スケジュールについて、現時点で考えている内容を明らかにすること。また、ATACSの導入計画があるのか明らかにすること。
- ワンマン運転開始までの運転士の教育・訓練を含めたスケジュールと内容について明らかにすること。また、蒲田駅および南浦和駅におけるワンマンスイッチの切り替えを伴う乗務交代時の基本動作、行路上継続乗務となる場合のワンマンスイッチの切り替えを伴う基本動作について、考え方を明らかにすること。
- 安全面が低下しない根拠を明らかにすること。具体的には、後方防護および隣接線や並行線区防護のあり方、車内秩序維持および車内トラブル等の対応方、異音感知や人身事故発生時の対応方などを明らかにすること。
- 駅設備側の故障や車載モニターの故障で、ホーム上の安全確認が出来ない時の取り扱いについて明らかにすること。
- 発車後に触車やドア挟み等に気づけなかった時の責任の所在を明らかにすること。
- 車両ドア故障時および非連動運転の取り扱いについて明らかにすること。
- 停止位置修正時の取り扱いについて明らかにすること。
- 車いす等の対応についての考え方を明らかにすること。また、南武線や横浜線と同様に車いす等の対応を行う際にパディコムを使用するのか明らかにすること。
- 大規模災害時など、お客さまを避難・誘導する必要がある時の取り扱いについて明らかにすること。
- 営業運転から回送になる電車の車内貫通実施方法について明らかにすること。
- 乗降終了表示について、横浜駅および関内駅北行における閉扉時期表示器を用いた乗降終了表示を行う箇所の取り扱いと、終電縛りの乗降終了表示の取り扱いについて、ワンマン運転開始後はどのような取り扱い方法を考えているのか明らかにすること。
- 車掌担務者の異動先と規模を明らかにすること。
- 施策に伴う「希望の把握」の方法について明らかにすること。

以 上

組合員の声をもとに団体交渉を行っていきます！
安全第一の施策にするため、職場から議論をつくりだそう！

